

事業所名

児童発達支援事業所 もこもこ倶楽部

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのあるお子さんと子育てに困っているお母さんの「どうやって育てればいいのか」に寄り添っていききたいという思いから成り立っています。子どもたちには一人ひとりの持っている力を引き出し、基本的な生活習慣と、社会生活の中での基本的なルールやマナーが身につくことを目指します。									
支援方針		【子どもには】①場所や人に慣れるまでをゆっくりつき合います。②一人ひとりが体を通して分かるまでを根気よく丁寧につき合いながら、基本的な生活習慣が身につくようにしています。③一人ひとりの特性に応じた支援ができるようにしていくことで、自分の持っている力を引き出していきます。④いろいろな遊びを楽しみながら、人づき合いや集団生活のルールを学べるようにしています。活動プログラムを作り、毎回同じ流れを繰り返すことで無理なく慣れていき、自主的に動けるようにしていきます。【保護者には】①困っていることなどに一緒に向き合い、子どもの成長を確かめ合えるようにします。②お母さん同士の交流を大切にしています。									
営業時間		9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容									
		未就園児クラス					就園児クラス				
本人支援	健康・生活	身の回りについては、トイレや手洗い場の使い方、衣類の着脱、トイレでおしっこができるようになる、椅子に座る、食べるマナーを身につける、などを保育園や幼稚園に必要な行動に向けて、習得できるように支援します。【トイレ場面】トレーニングパンツで過ごすようにし、トイレで排尿ができるようになるまでを、一人ひとりに合わせて誘導しています【手洗い場面】手をきれいに洗えるようになるまでを、毎回一緒につき合うようにしています。手洗いと遊びを区別できるよう対応しています。【おやつ場面】椅子に座って、一斉に「いただきます」で始まり、「ごちそうさま」で終わりが分かるようにします。コップでお茶が飲める、おやつをきれいに食べるなどのマナーが身につくようにします。					保育園や幼稚園の中で子どもたちが自主的に行動できて、身に回りの細かい部分まで身につくように支援します。子どもたちが活動の予定表を見ながら流れに沿って、自分のペースで行動するようにします。身の回りについては、一人ひとりに合わせて、まだできていない部分を課題として具体的な支援を行います。				
	運動・感覚	【集団遊び】毎回簡単なルールの中で順番を守り、小集団で遊ぶ経験をしています。椅子に座って順番を待ち、一人ずつ呼ばれたら前に出て、スタッフと一緒に参加します。「ボールキャッチ」「わたってジャンプ」「わたってゆらゆら」「トランポリン」等々を取り入れています。活動を通して、体の使い方や力の加減、瞬発力、平衡感覚などを体験する機会を作ります。					【集団遊び】毎回簡単なルールの中で順番を守り、小集団の中で遊ぶ経験をしています。的当て・輪投げ・ボールキャッチ・ボーリング等々を行い、点数をボードに書き、結果が見て分かるようにしています。活動を通して、体の使い方や力の加減、瞬発力、平衡感覚、コントロール仕方などを体験する機会を作ります。				
	認知・行動	設定場面をつくり、毎回繰り返す作業として行っています。ひも通し、パズル、絵合わせカードなどを通して、手先を使った細かい動き、形、色、大きさ、属性などについて、物の名前と結びつけながら、学ぶ機会を作ります。					設定場面として、毎回繰り返す作業として行っています。ひも通し、パズル、迷路や点つなぎのプリントなどを通して、手先を使った細かい動き、形、色、大きさ、属性などについて、物の名前と結びつけながら学ぶ機会を作ります。最後までやり通す経験や集中力や根気が自然に身につくように支援します。				
	言語コミュニケーション	「指示を聞いて動く」「自分からも気軽に話しかける」という言葉によって伝え合う基盤をつくります。職員からやってほしいことを伝え、子どもからも相手の言うことに応じて行動したり、意思を伝える経験を通して、やりとりの楽しさや相手との親しい間柄が生まれてくるように支援します。【絵本の読み聞かせ】子どもたちに合った分かりやすい内容の絵本を選び、読み聞かせをしています。本を通して共通の話題ができたり、いろいろな興味や関心が広がる機会とします。					「指示を聞いて動く」「自分からも気軽に話しかける」という言葉によって伝え合う基盤をつくります。職員からやってほしいことを伝え、子どもからも相手の言うことに応じて行動したり、意思を伝える経験を通して、やりとりの楽しさや相手との親しい間柄が生まれてくるように支援します。さらに、なぞり書きを通して文字に触れる機会を作り、椅子に座り字が姿勢が身につくようにしています。				
	人間関係社会性	好きなあそびの時間を設け、玩具の扱い方、一緒に遊ぶ楽しさや人との関わりが経験できるようにします。片づけまでを遊びとして、終わりが分かるようにします。不安が強い時や落ち着かない時には、まず安心できるまでを1対1で丁寧につき合うようにします。また集団遊びを通して、簡単なルールや順番を守りながら遊ぶ楽しさを体験するようにし、保育園や幼稚園での生活につながるように支援をします。					好きなあそびの時間を設け、好きな玩具を選び一人で遊ぶ時間も大切にしています。また子ども同士で遊ぶ経験を通して、人との関わりを学ぶ機会を作ります。遊びの中で思い通りにいかない時は、1対1で向き合い先ず気持ちを落ち着かせ、子どもの気持ちを聞き出し、一緒に解決していくことを大切にしています。子どもたちの「お友だちと仲よく遊びたい」気持ちが上手く行動に移せるような支援を目指しています。				
家族支援		未就園児クラスは実際場面の中で、就園児クラスは保護者の送迎時に、お子さんの様子や困りことなど気軽に話してもらえるようにします。また、児童発達支援管理責任者にいつでも相談できるような体制を整えます。					移行支援			必要に応じて、保育園、幼稚園でのお子さんの様子を見学したり、保育園、幼稚園の様子や支援方法について、情報共有していきます。	
地域支援・地域連携		お子さんの通っている幼稚園・保育園や相談支援事業所などと情報共有をするなど、連携を図ります。					職員の質の向上			インシデントプロセス法に基づくケース検討を毎月一回行っています。障がいへの理解を深めるとともに、自分の日ごろの対応の仕方を見つめ直し、質の向上に努めます。また、毎日のお子さんの支援に関する情報を共有します。職員の外部研修への参加を奨励します。	
主な行事等		避難訓練（地震津波、火災、水害、年2回以上）									